

かめやま教育通信

第12回

大切にしたい
みんなの人権



人権を大切にするとってどんなこと？

～子どもたちは人権学習に取り組んでいます～

みんなで人権について考え合う

～人権フォーラム・人権集会の実施、ヒューマンフェスタ in 亀山への参加～
各学校や中学校区で、人権について考え合う、人権フォーラムや人権集会に取り組んでいます。子どもたちが、差別やいじめをなくしていくために、自分にできることを考え合いました。

また、12月9日に開催されたヒューマンフェスタ in 亀山では、市内の中学生を含む代表者の作文発表を聞いて、自分と周りの人との関わり方について考える機会となりました。会場では、人権習字や人権ポスターも飾られ、子どもたち自らが考えた人権標語を、しおりにして来場者に配布しました。



人権について考えを述べる ～市内の各学校で子どもたちが人権標語・人権メッセージを考えました～

- 憂(つら)いときでも 人(なかま)がいれば 優(つよ)くなる
- 優しい心で 未来ある花 咲かせよう
- さあ今だ 心の壁を乗り越えろ きっといはず 心の友だち
- 何気ない一言、ちょっとした軽い気持ちで言った一言で、人の心や体を簡単に傷つけることができる。でも、何気ない一言、ちょっとした軽い気持ちで言った一言で、人の心や体をいやしたり、救ったりすることができる。そんな言葉を言える人にあなたはなろう。
- 別に自分をつくらなくていい。自分らしさを出していてもいい。自分らしい表情、自分らしい行動、きっと受け入れてくれる人がいるだろう。「自分」という人間は世界中で一人しかいないのだから。

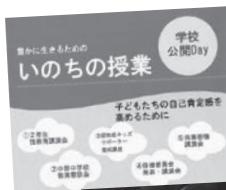


自分を大切に、周りの人も大切にすることを学ぶ

中部中学校では、11月・12月の学校公開Dayに、5人のゲストティーチャーをお招きし、豊かに生きるための「いのちの授業」を行いました。子どもの自己肯定感を高めるための講演を、生徒・保護者がともに聞く貴重な機会となりました。

日本ウェルネススポーツ大学教授の近藤さんからは、自己肯定感を高めることと命を大切にすることのつながりについて学びました。また、自分はかけがえのない存在であること、自分も周りの人も大切にすることを学びました。

※近藤さんには亀山中学校でも講演していただきました。



自己肯定感を高めるには、誰かとの共有体験が必要です。家族や友達、周りの人と一緒に何かをやり遂げる体験を積みましょう(授業内容より)。

みんなで作ろう！一人ひとりの人権が尊重される亀山市

- 障害者差別解消法(平成28年4月施行)
- ヘイトスピーチ解消法(平成28年6月施行)
- 部落差別解消法(平成28年12月施行)

差別を解消するための3つの法律が施行され、社会全体で人権課題の解決に向けた取り組みが行われています。亀山市でも「亀山市人権教育基本方針」を定めて、人権教育の推進をより一層図っていきます。

子どもたちを含むみんなで、人権が尊重される明るく住みよい社会を目指しましょう。



問合先

教育委員会教育研究室
(☎84-5077)